

MW36

分娩介助シミュレータ

取扱説明書

目 次

- はじめに P.1
製品の特長とご注意
- ご使用の前に P.2
セット内容・ご使用上の注意
- 取扱のご注意 P.3
- 準備 P.4～P.7
- 実習 P.8～P.9
- 後片付け P.10



動画サイト



日本語サイト

このたびは、当社の「分娩介助シミュレータ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ごじます。

本製品は母性・助産技術の向上を目的に開発されたモデルです。分娩介助に関する実習教材としてご使用ください。

■ 特 長

- 外陰部に伸縮性、復元性、耐久性に優れた新素材を採用。会陰保護から胎児・胎盤の娩出まで、より生体に近い演習が行えます。
- 正確な産道・坐骨棘・恥骨結合・尾骨を再現、骨盤と胎児の位置関係を目で確認しながら、解剖の理解に基づく手技の習得が可能です。

■ 実習項目

- | | | |
|-------------------------|------------------------|----------------|
| ・ 分娩体位別介助法
（仰臥位・膝手位） | ・ 胎児の娩出
（紺子分娩・吸引分娩） | ・ 胎盤の娩出 |
| ・ 会陰、肛門保護 | ・ 臍帯の結紮・切断 | ・ 卵膜の確認 |
| | | ・ 導尿カテーテルの挿入手順 |

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

※ 製品の一部に伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊軟質樹脂を使用しております。
取扱説明書 P3 の注意事項をお読みいただき、適切な使用、保管をお願いいたします。

セット内容

ご使用前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



注意

●取り扱いにご注意ください。

特殊軟質及び硬質樹脂を使用しており、また重量がありますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。

●印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。

樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

●高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。

変形や故障の原因となります。

●水又は中性洗剤で拭き取ってください。
汚れは水又は中性洗剤で拭きとってください。
アルコールやシンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

●ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

●表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

必ずお読みください！

- 外陰部ユニット、胎盤モデル、切断用臍帯の取扱い及び保管方法に関するご注意
伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊な軟質樹脂を使用しております。
下記の注意事項を必ずお読みいただき、適切な取扱いと実習後の保管をお願いいたします。

- 実習後は外陰部ユニット、胎盤モデル、切断用臍帯はタルカムパウダーを塗布し、付属の不織布の袋に入れるか、バット等に入れて保管してください。



外陰部ユニット



胎盤モデル



切断用臍帯



- 臍帯を持って胎盤を持ち上げないでください。

平滑な面に置いた胎盤は、素材の特性上吸着しやすい為、移動の際は胎盤の端を一旦持ち上げて浮かせてから移動してください。



- 他の樹脂製品や印刷物が直接触れないようにしてください。

他の樹脂製品や印刷物が接触した状態で保管されますと、表面に型が残ったり、印刷物のインクが吸収され、消えなくなる場合があります。

- 適切な温度・湿度で、直射日光を避けて保管してください。外

箱に適切な保管温度の目安となる警告用シールが貼付してあります。気温が 60℃以下の場所で保管してください。

60℃以上になると左端の○印のマークが緑色に変色しますので、すみやかに保管場所を移動してください。

※ 1度変色したシールは元の色に戻りません。

発色前			発色後		
3F60	年	月貼付	3F60	年	月貼付
60	65	70	60	65	70

胎児モデルの準備

1. 胎児モデルの準備

胎児モデル、胎盤モデル、臍帯、切断用臍帯、卵膜、潤滑剤を用意します。



胎児モデル



胎盤モデル



臍帯



切断用臍帯



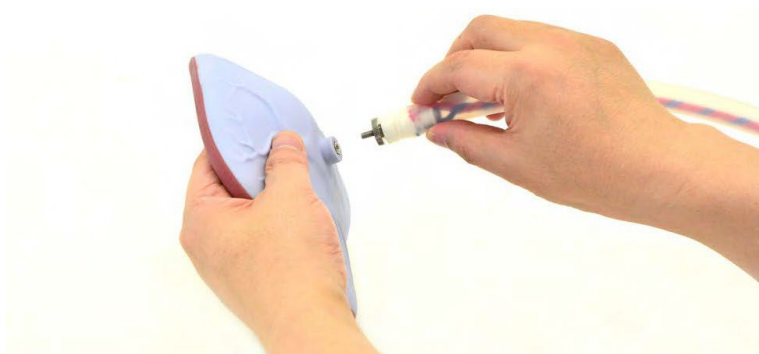
卵膜



潤滑剤

2. 胎盤モデルを専用の収納袋から取り出し、臍帯を取り付けます。

臍帯は先端がねじになっている方のリングを時計方向に回して胎盤に固定します。



3. 卵膜の中央に穴が開いているので、そこに臍帯を通します。

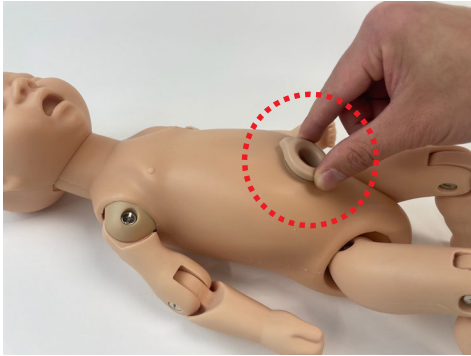


4. 切断用臍帯を専用の収納袋から取り出し、片側の先端部を裏返してフックを出し、そこに臍帯の金具を取り付けます。

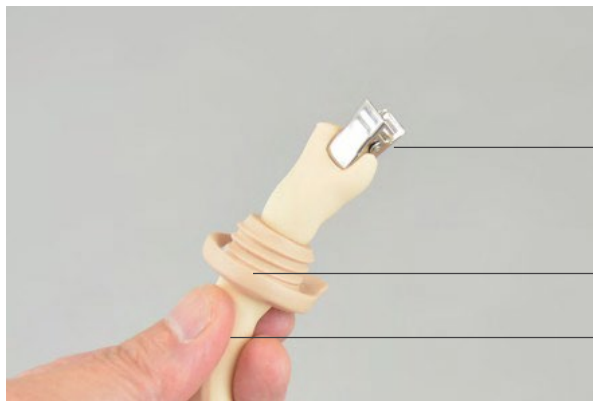


胎児モデルの組立

4. 胎児モデル腹部のネジを緩め、中に入っているクリップを取り出します。



5. 切断用臍帯に胎児モデルの臍帯固定ねじを通してからクリップで先端を挟みます。



6. 胎児モデル腹部の凹部にクリップを戻して臍帯固定ネジを締め、臍帯を固定します。
胎児モデルの準備は完了です。



※臍帯固定ねじを締める際にクリップがあたると最後まで締めることができません。
クリップの向きを調整して臍帯固定ねじにあたらないようにしてください。

準 備

潤滑剤の塗布

実習前に必ず胎児モデル、胎盤モデルと卵膜、外陰部ユニットの内側に潤滑剤を十分に塗布してください。

1. 付属のバットに、胎盤モデルを取り付けた胎児モデルを置き、潤滑剤を塗布します。
潤滑剤は、胎児モデル全体と胎盤モデル上の卵膜部分に塗布します。



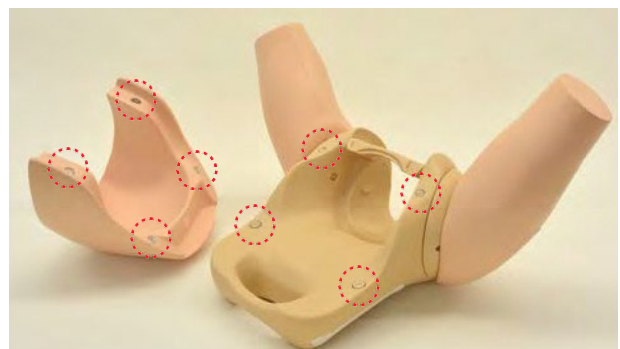
2. 外陰部ユニットの内側にも潤滑剤を塗布します。

※モデル本体に取り付けてから塗布いただいても構いません。



モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部を持ち上げることで取り外すことができます。

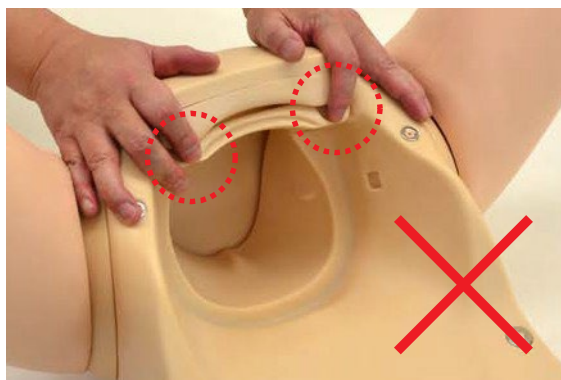


モデルの準備

2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



3. ボディの腹部カバーを元に戻し、胎児モデルを腹部にセットして準備は完了です。

※胎盤モデルは必ず付属のバットに入れて実習を行ってください。



分娩体位・モデルの特長

実習は仰臥位、膝手位で行うことができます。



仰臥位



膝手位

《モデルの特長》

- ・骨盤と胎児の位置関係を目で確認しながら、娩出時における胎児の動きを確認する事が可能。
- ・伸縮性、復元性に優れた外陰部と胎児のサイズに適した産道を設定。ボディのハンドル部を軽く押さえながら小さな力で胎児を娩出する事が可能。
- ・胎児との位置関係を理解するための坐骨棘、恥骨結合を再現。



坐骨棘を結んだステーション0の認識が可能

実習項目

○ 会陰、肛門保護



○ 分娩介助



○ 胎児の娩出



○ 臍帯の結紮、切断



○ 胎盤の娩出



○ 胎盤・卵膜の確認



後片付け

○ 外陰部ユニットの取り外し

1. 腹部カバーを持ち上げ、ボディ本体からはずします。
2. 外陰部ユニットのフレーム上部を手前に引いてボディから取り外します。

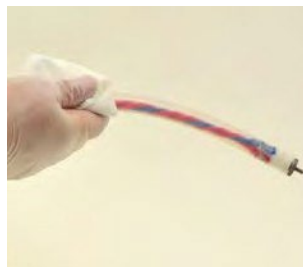


○ 胎児モデルの分解

1. 組立と逆の手順で、臍帯、胎盤モデルを取り外します。(P4～P5を参照)

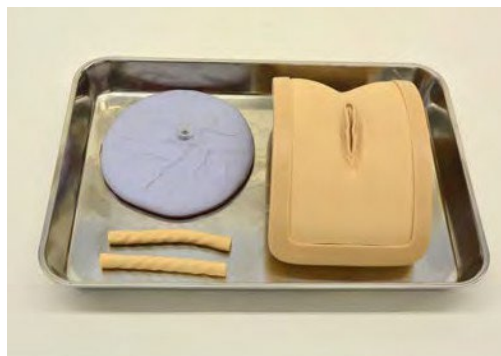
○ 各部の清掃と保管

1. ウエットティッシュ等で胎児モデル、臍帯、卵膜、外陰部ユニットに付着した潤滑剤を拭き取ります。水道水で洗い流していただいても構いませんが十分に乾燥させてください。
乾燥後、各部品に付属のタルカムパウダーを塗布します。



2. 外陰部ユニット、胎盤モデル、切断用臍帯は特殊軟質樹脂を使用しておりますので、保管時は付属の不織布の袋に入れるか、実習に使用したバットに入れて保管してください。

注：他の樹脂製品や印刷物と一緒に保管されますと長時間接触した他の樹脂製品が変質したり、印刷物のインクが吸収されて消えなくなります。



**注意**

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

交換部品

コード	品 名	コード	品 名
11415-030	外陰部ユニット (内診、分娩介助共通)	11416-030	切断用臍帯10本組
11458-030	胎児モデル	11416-040	卵膜 5枚組
11416-020	胎盤モデル	11415-040	潤滑剤 500ml (詰め替え用)
		11415-050	潤滑剤 500ml (詰め替え用) と専用ボトル



外陰部ユニット
(内診、分娩介助共通)



胎児モデル



胎盤モデル



切断用臍帯10本組



卵膜 5枚組



潤滑剤 500ml (詰め替え用)と専用ボトル

別売部品

コード	品 名
11417-020	外陰部ユニット (会陰縫合用)



外陰部ユニット

・ ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記 (株)京都科学まで御連絡ください。



株式会社 **京都科学**

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 本社・工場

〒612-8388

京都府京都市伏見区北寝小屋町1 5 番地

TEL : 075-605-2510 (直通)

FAX : 075-605-2519

■ 東京支店

〒113-0033

東京都文京区本郷三丁目26番6号

NREG本郷三丁目ビル2階

TEL : 03-3817-8071 (直通)

FAX : 03-3817-8075